



制作：名城大学薬学部病態解析学 I
(浅井美穂、野田幸裕)
監修：名城大学薬学部 地域医療
薬局学講座
NPO J-DO (鍋島俊隆)

平成 27 年 1 月 30 (金) 一宮市立葉栗小学校にて 「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」の 「くすり教室：実験講座」と「乱用薬物には絶対手を出さない！」 授業」を開催

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構 (NPO J-DO) は、国民に「くすり」を安全に安心して使っていただくために薬剤師や国民に対する教育講演や学会を開催しています。その活動の一つとして、小学生にも「くすり」のことは知ってもらいたい授業や体験実験を行っています。

一宮市立葉栗小学校校長三輪英先生、学校薬剤師濱崎光哲先生、養護教諭吉田佳世先生のご尽力により、平成 27 年 1 月 30 日 (金) 一宮市立葉栗小学校にて「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」「くすり教室：実験講座」および「乱用薬物には絶対手を出さない！」を次ページの内容にて開催しました。

近年薬物乱用者の低年齢化が進んでおり、容易に「危険ドラッグ」を入手できる社会的環境や、「一度くらいなら大丈夫」という誤った認識がその背景にあると言われています。薬の専門家である薬剤師がその危険性について講義することで、小学生の頃から乱用薬物についての正しい知識を持ち、「No!」と言えるようになることが必要です。そのため、乱用薬物に関する授業「乱用薬物には絶対手を出さない！」も併せて開催しました。

当日は、一宮市立葉栗小学校の学校関係者のご協力により、小学生 100 名 (6 年生) が参加しました。授業や体験実験は、大変分かり易かったと大好評でした。



一宮市立葉栗小学校における「くすり教室」

日時：平成27年1月30日（金）10時00分～11時05分

場所：一宮市立葉栗小学校 屋内運動場

内容

- ・「実験を始める前のお話し」：Q&A方式

くすりをどのように飲んだら良く効き、副作用を防ぐことができるか、Q&A方式で小学生が答える、児童参加型で行いました。名城大学薬学部の大学生がスライドを使ってわかりやすく説明し、多くの小学生が元気よく挙手して活発に問い掛けに答えてくれました。

- ・「体験実験」

小学生は14グループ（1グループ6～8名）に分かれ、お話の内容をより理解できるように、鍋島俊隆理事長、野田幸裕副理事、名城大学薬学部と愛知学院大学薬学部の学生が補助しながら、体験実験を行いました。

＜実験項目＞

1. どうして「カプセル」になっているのだろう？
2. コップ1ぱいの水かぬるま湯でくすりを飲むのはなぜ？
3. 水がなくても飲める錠剤があるのを知ってる？
4. 「ざやく」って何度で溶けるんだろう？
5. 胃でとけずに、腸でとけるくすりがあることを知ってる？
6. くすりを「お茶」で飲むとどうになってしまうの？
7. 「うがいぐすり」でうがいをした後に、すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの？

一宮市立葉栗小学校における授業

「乱用薬物には絶対手を出さない！」

日時：平成27年1月30日（金）11時05分～11時25分

場所：一宮市立葉栗小学校 屋内運動場

内容

- ・「乱用薬物には絶対手を出さない！」

どのような薬がドラッグとして乱用されているか、薬物乱用はどのように怖いのか、乱用されているくすりの正しい情報、薬物乱用者の実態、薬物乱用に対してみんなができることについて、野田幸裕副理事がスライドを使ってわかりやすく説明しました。お話を通して薬物乱用の恐ろしさについてしっかりと理解することが出来ました。

